

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2024年度	3年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	古美術研修	専任教員、北 進一	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。(等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など)</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともあります。現地で間近に見るのは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作にいい刺激になることでしょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	東京から京都へ新幹線で移動		
2	智積院宝物庫見学		
3	南禅寺特別拝観見学		
4	平等院見学		
5	石峰寺見学		
6	醍醐寺見学		
7	広隆寺、東寺見学		
8	京都から東京へ新幹線で移動		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>研修の参加を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義形式を基本とする。研修に参加しない学生にはレポート課題を提出。</p> <p>和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』(シンコミュージック・エンターテイメント)『アシュラブック』(美術出版社)、共著に『カラー版東洋美術史』(美術出版社)。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	3年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画総合研究	工藤礼二郎 青木聖吾 山本 晶	1.5単位 383時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
2年次に行ってきた実習・演習を通して模索してきた各自のテーマを大作制作に繋げるべく、表現形式や支持体、描画材料など総合的に検証し9月の校外展のための作品制作を行う。			
<b>【講義概要】</b>			
各自のテーマにもとづく自由制作を中心に担当講師とのディスカッションやワークショップを通して表現に即した支持体や描画材料を検証、エスキースおよびタブローの制作を行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導	86	～90 制作、制作指導
6	～10 制作、制作指導、中間チェック	91	～95 制作、制作指導
11	～15 制作、制作指導	96	～100 制作、制作指導
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、制作指導
21	～25 制作、個別指導、中間チェック	106	～110 制作、制作指導、中間チェック
26	～30 制作、制作指導	111	～115 制作、制作指導
31	～35 制作、制作指導	116	～120 制作、制作指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	121	～125 制作、制作指導
41	～45 制作、個別指導	126	～127 制作、制作指導
46	～50 制作、個別指導	128	講評会
51	～55 制作、制作指導		
56	～60 制作、個別指導、中間批評会		
61	～65 制作、制作指導		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導、中間チェック		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</p> <p>青木 聖吾：1964年千葉県生まれ。1993年愛知県立芸術大学大学院修了。近年の助成等として、2017文化庁芸術推進事業助成、第17回セルベイラビエンナレ・レジデンスアーティスト、第2回川口市アートギャラリー・アトリア新鋭作家展優秀賞。東京、京都、名古屋、ポルトガル、上海等で発表多数。</p> <p>山本 晶：武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルバインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展ギャラリエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	3年絵画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アートの現場	山口藍	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
可能な限り多様なギャラリーを巡り、作家やギャラリストスタッフなど現場での様々な視点を自分なりに解析し、社会における美術の在り方を積極的に考察しながら自分の作品の核心を探る。			
【講義概要】			
2回1セットを基本とし、1回目は授業のある期間に開催されている展覧会を実際に巡り関係者に話を伺い、2回目は鑑賞後それぞれ考察した内容を発表し互いの意見を尊重しつつ作家の意図することを紐解いていく。同時にル・デコでの展示に繋がるよう、グループで一つの空間を構成する意識を持って臨む。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	美術館訪問		
4	講義		
5	ギャラリー見学		
6	講義		
7	美術館訪問		
8	発表		
9	講義		
10	まとめ		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンバス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	3年絵画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	卒業制作	工藤礼二郎 青木聖吾 山本 晶 山口 藍	16単位 408時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
1、2年次の絵画実習を通して学んだ技術と3年次前期で展開してきた自主制作を発展させ3年間の集大成としての卒業制作を行う。			
<b>【講義概要】</b>			
各自のテーマに基づき卒業制作として100号の平面作品2点、もしくは高さ250cm、幅300cmの壁面に収まる平面作品1点を制作する。幅300cmの壁面に収まる平面作品1点を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導	86	～90 制作、制作指導
6	～10 制作、制作指導、中間チェック	91	～95 制作、制作指導
11	～15 制作、制作指導	96	～100 制作、制作指導
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、制作指導
21	～25 制作、個別指導、中間チェック	106	～110 制作、制作指導、中間チェック
26	～30 制作、制作指導	111	～115 制作、制作指導
31	～35 制作、制作指導	116	～120 制作、制作指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	121	～125 制作、制作指導
41	～45 制作、個別指導	126	～130 制作、制作指導
46	～50 制作、個別指導	131	～135 制作、制作指導
51	～55 制作、制作指導	136	講評会
56	～60 制作、個別指導、中間批評会		
61	～65 制作、制作指導		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導、中間チェック		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</p> <p>青木 聖吾：1964年千葉県生まれ。1993年愛知県立芸術大学大学院修了。近年の助成等として、2017文化庁芸術推進事業助成、第17回セルベイラビエンナレ・レジデンスアーティスト、第2回川口市アートギャラリー・アトリア新鋭作家展優秀賞。東京、京都、名古屋、ポルトガル、上海等で発表多数。</p> <p>山本 晶：武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシッパ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展ギャラリエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。</p> <p>山口 藍：1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを手布と綿布でくるんだ『ふとんキャンパス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。</p>			